



株式会社NexTone 代表取締役CEOの阿南雅浩です。
当社2027年3月期第1四半期の決算内容について
ご説明いたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

なお、ご説明にあたり、他社様、アーティスト様等への敬称は
省略させていただきますのでご了承ください。

目次		
①	エグゼクティブサマリー	3
②	2027年3月期第1四半期 決算概要	4
③	中期業績計画（2027/3期～2029/3期）	25
④	APPENDIX	28

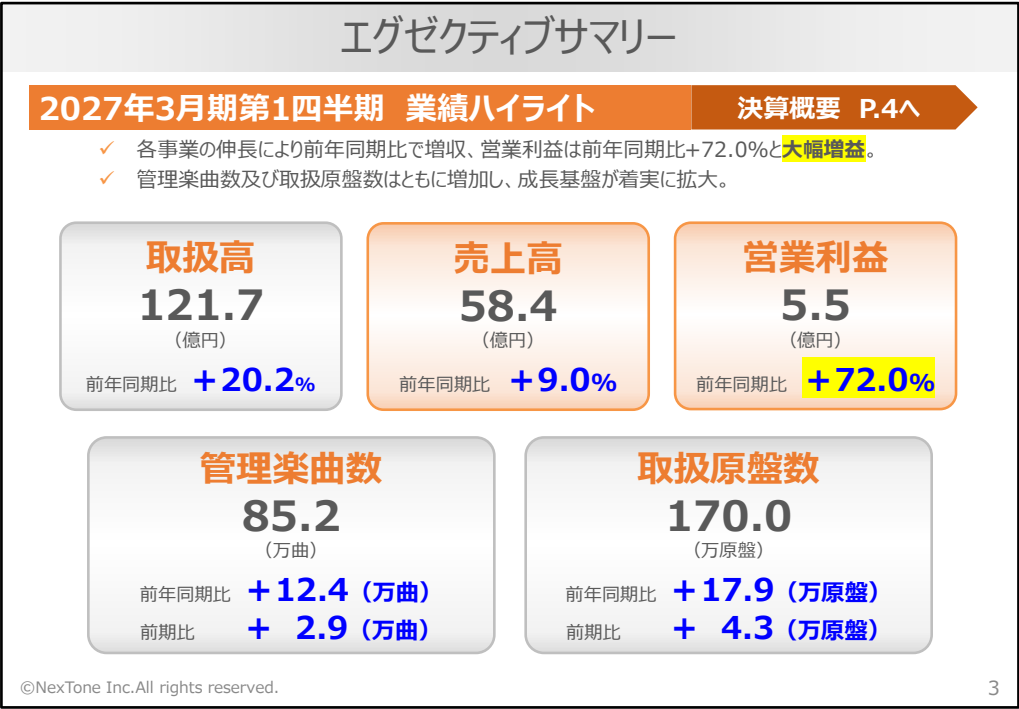
IRに関連する
Q&A一覧はこちら

Q A

©NexTone Inc.All rights reserved.

2

それでは、先日開示いたしました資料にて、
目次の1と2についてご説明いたします。



2027年3月期第1四半期 決算概要

それでは、2027年3月期第1四半期の決算概要を
ご説明いたします。

2027年3月期第1四半期 決算概要

✓ 各事業が堅調に推移し業績が拡大。コスト抑制等が奏功し営業利益率は9.6%へ大幅改善。

(億円)	2026/3期	2027/3期	前年同期比		2026/3期	2027/3期
	1Q	1Q	増減	増減率	通期	通期計画
売上高	53.6	58.4	+4.8	+9.0%	207.7	220.0
販管費	10.0	10.2	+0.2	+1.9%	40.1	42.0
営業利益	3.2	5.5	+2.3	+72.0%	13.0	16.0
経常利益	3.2	5.7	+2.5	+76.2%	13.3	16.0
親会社株主帰属 当期純利益	2.1	3.3	+1.2	+58.8%	7.9	10.0
営業利益率	6.1%	9.6%	+3.5pt	-	6.3%	7.3%
管理楽曲数 (万曲)	72.7	85.2	+12.4	+17.2%	82.3	97.0
取扱原盤数 (万原盤)	152.1	170.0	+17.9	+11.8%	165.7	176.0

©NexTone Inc.All rights reserved.

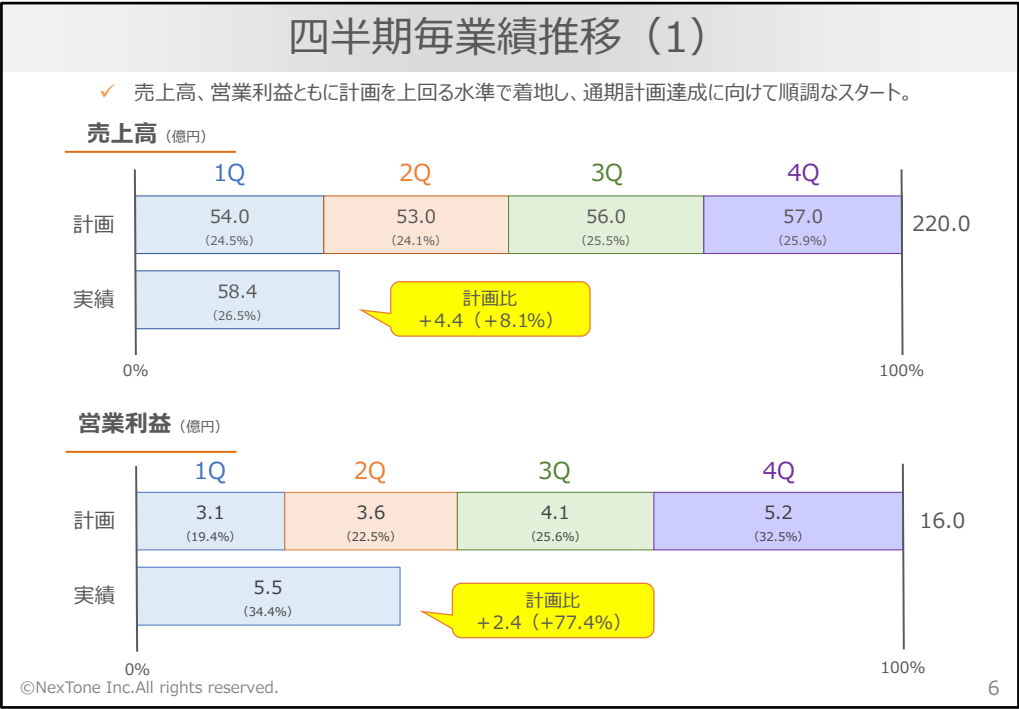
5

オレンジ色でハイライトした部分が、第1四半期の実績です。

音楽関連市場の引き続きの拡大を背景に、各事業が堅調に推移した結果、売上高は58.4億円、前年同期比で9.0%増収となりました。

営業利益は増収効果やコスト抑制等の推進に加え、2026年3月31日付で子会社エッグスの一部事業を第三者に譲渡したことにより収益性が改善した結果、5.5億円、前年同期比で72.0%増益となり、営業利益率も大きく改善しました。

重要な経営指標である管理楽曲数、取扱原盤数も着実に増加しております。



続きまして、四半期毎の業績計画の進捗状況です。

上のグラフ、売上高は第1四半期計画54億円に対して、58.4億円となり、計画比4.4億円増となりました。

下のグラフ、営業利益は第1四半期計画3.1億円に対して、5.5億円となり、計画比2.4億円増となりました。

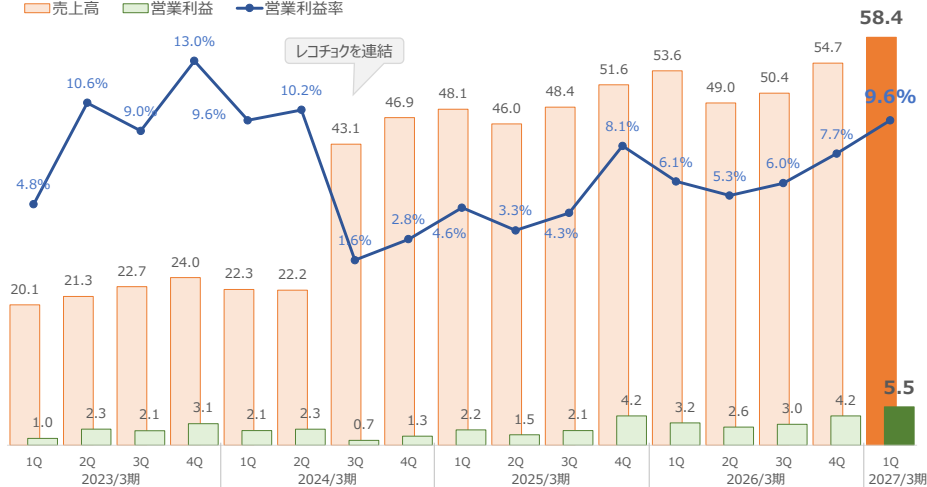
売上高、営業利益ともに計画を上回る水準で着地し、通期計画達成に向けて順調なスタートとなりました。

四半期毎業績推移（2）

- ✓ 四半期ごとの収益水準が着実にベースアップ。音楽関連市場の拡大とともに、ストック資産である管理楽曲数と取扱原盤数が着実に積み上がり、中長期的な増収増益トレンドがより一層強固に。

（単位：億円）

売上高 営業利益 営業利益率



©NexTone Inc. All rights reserved.

7

こちらは、2023年3月期以降の四半期毎の業績推移をお示しております。

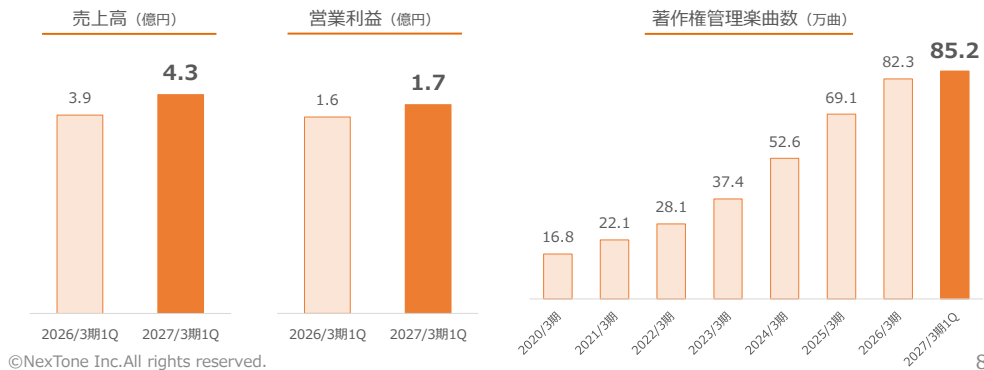
2024年3月期第3四半期にレコチョクを連結し、以後の売上は拡大しており、営業利益においてもレコチョク連結の効果が始まってまいりました。

今後も音楽関連市場の拡大と共に、継続的な業績拡大を見込んでおります。

セグメント別業績 (1/4) ■ 著作権管理事業

- ✓ 音楽関連市場の拡大を背景に、主力管理区分である「インタラクティブ配信」「録音権等」「放送等」の徴収額が拡大し、前年同期比で増収増益。

(億円)	2026/3期	2027/3期	前年同期比		2026/3期	2027/3期
	1Q	1Q	増減	増減率	通期	通期計画
売上高	3.9	4.3	+0.4	+10.2%	16.0	17.0
営業利益	1.6	1.7	+0.1	+9.0%	7.0	7.0



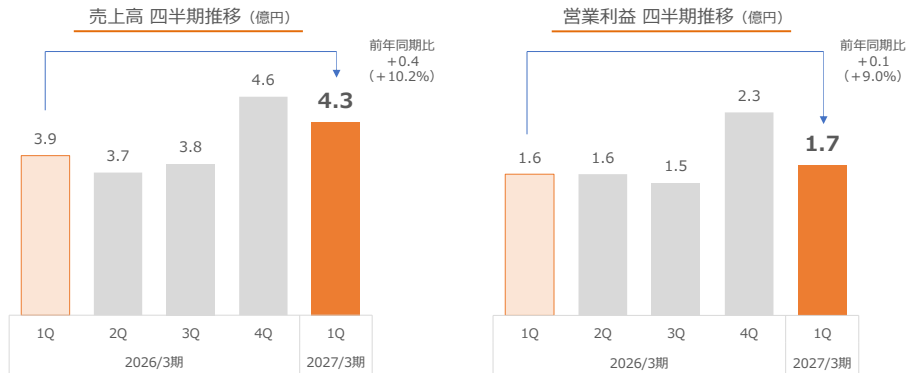
続きまして、セグメント別の業績をご説明いたします。
まず、楽曲の著作権管理と子会社のエムシージェイピーの音楽出版事業を合わせた、著作権管理事業です。

上段の表をご覧ください。前年同期と比較して、
売上高は、4千万円増、率にして10.2%増。
営業利益は、1千万円増、率にして9.0%増となりました。

前年同期比で主力管理区分である「インタラクティブ配信」
「録音権等」「放送等」の徴収額が着実に拡大し、
増収増益となりました。

四半期業績推移 ■ 著作権管理事業

(億円)	2026/3期				2027/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	3.9	3.7	3.8	4.6	4.3
営業利益	1.6	1.6	1.5	2.3	1.7



©NexTone Inc. All rights reserved. ※ 毎期4Qに年に1度だけ使用料を徴収する区分があるため4Qの業績が増える傾向

9

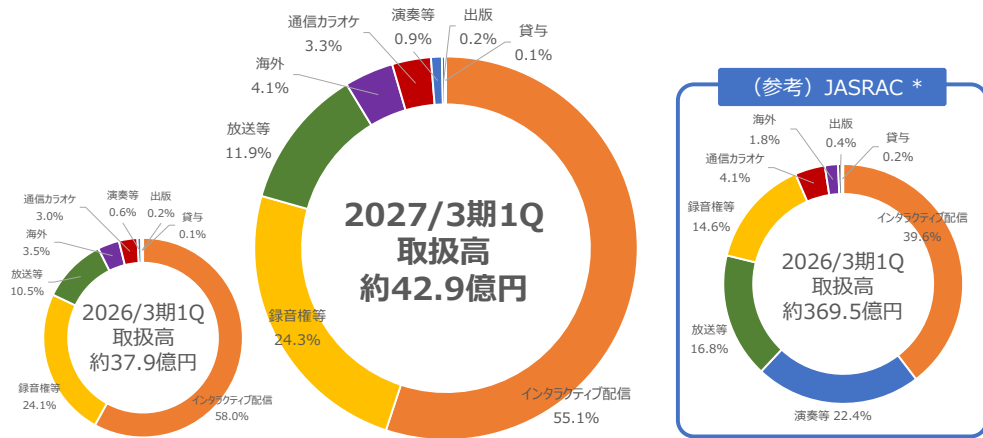
続きまして、著作権管理事業の四半期業績推移です。

音楽関連市場の引き続きの拡大や、管理楽曲数の積み上げを背景に、業績は安定的に推移しております。

なお、毎期第4四半期は1年に1度使用料を徴収する区分があるため、徴収額が増える傾向にあります。

取扱高内訳推移

- ✓ 著作権管理サービスにおける取扱高は42.9億円（前年同期比+13.2%）へ拡大。
- ✓ 「インタラクティブ配信」区分の取扱高は23.6億円（前年同期比+7.6%）となり、音楽配信市場の拡大を背景に堅調に推移。



参考：一般社団法人日本音楽著作権協会サイト

©NexTone Inc. All rights reserved.

10

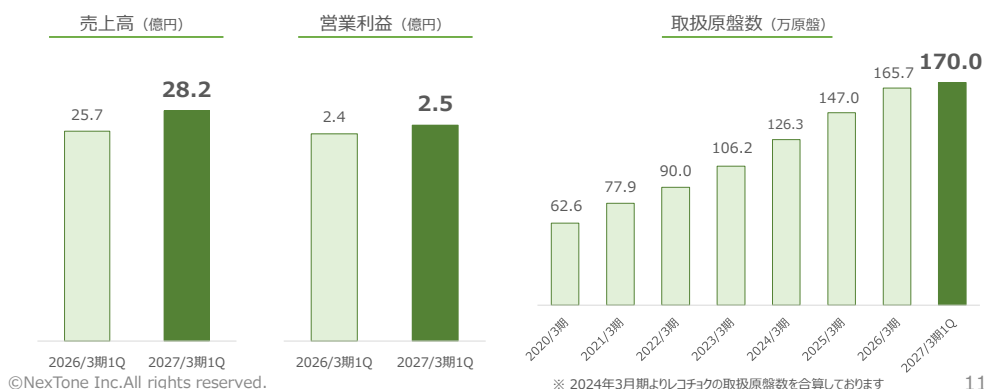
続きまして、取扱高の内訳をご説明いたします。
 ストリーミング音楽配信、CD、DVD等の音楽ソフト、
 地上波テレビ放送やCM放送等における使用料の徴収が
 好調だったことから、「インタラクティブ配信」「録音権等」
 「放送等」の徴収額が前年同期比で拡大いたしました。

注力区分である「海外」「演奏」区分の徴収額も着実に
 増加しております。

セグメント別業績 (2/4) ■ DD (デジタルディストリビューション) 事業

✓ 音楽配信市場の伸長、グローバルDSPのサービス価格改定、取扱原盤の着実な増加等により前年同期比で増収増益。

(億円)	2026/3期	2027/3期	前年同期比		2026/3期	2027/3期
	1Q	1Q	増減	増減率	通期	通期計画
売上高	25.7	28.2	+ 2.5	+ 9.8%	103.4	114.0
営業利益	2.4	2.5	+ 0.1	+ 4.4%	10.4	11.0



続きまして、DD事業の実績です。

DD事業は、NexToneと子会社のレコチョクそれぞれのDDサービスの合計となります。

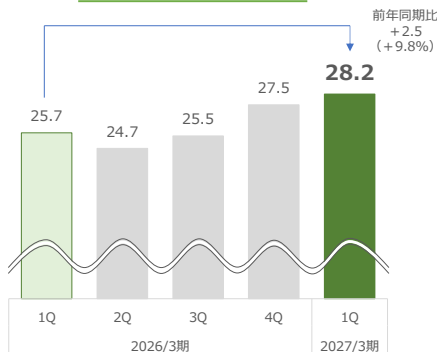
前年同期と比較して売上高は、2.5億円増、率にして9.8%増。営業利益は、1千万円増、率にして4.4%増となりました。

取扱原盤数は、着実に増加して合計170万原盤となりました。

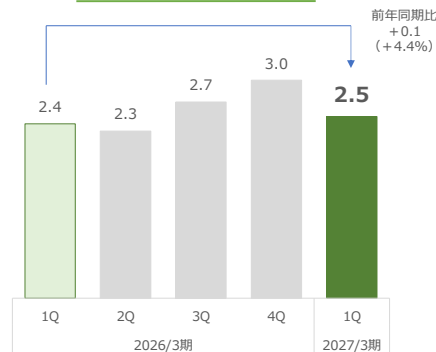
四半期業績推移 ■ DD（デジタルディストリビューション）事業

(億円)	2026/3期				2027/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	25.7	24.7	25.5	27.5	28.2
営業利益	2.4	2.3	2.7	3.0	2.5

売上高 四半期推移 (億円)



営業利益 四半期推移 (億円)



©NexTone Inc. All rights reserved.

12

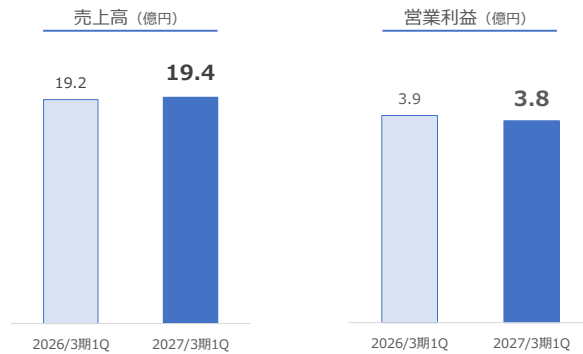
続きましてDD事業の四半期業績推移です。

ストリーミング音楽配信市場と動画配信市場の拡大を背景に、当社の強みであるアニメ、ゲーム関連の原盤や、ボカロ、VTuber等のネットクリエイター関連の原盤が日本および海外で多く使用されたこと等により、前年同期比で増収増益となりました。

セグメント別業績 (3/4) ■ 音楽配信事業

✓ 前期並みの水準を維持するとともに法人向けサービスは拡大が進み、全体として堅調に推移。

(億円)	2026/3期	2027/3期	前年同期比		2026/3期	2027/3期
	1Q	1Q	増減	増減率	通期	通期計画
売上高	19.2	19.4	+0.2	+0.8%	77.2	73.0
営業利益	3.9	3.8	▲0.1	▲2.5%	15.6	13.0



©NexTone Inc. All rights reserved.

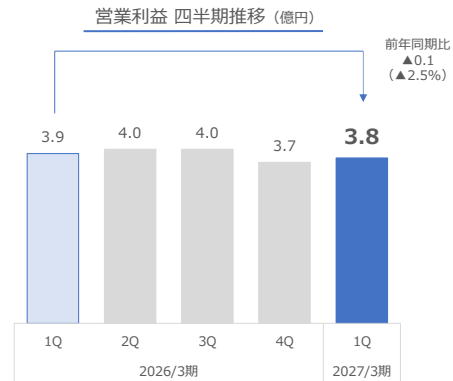
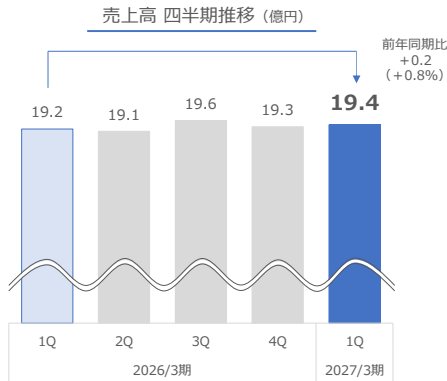
13

続きまして、子会社のレコチョクの単独事業である音楽配信事業の実績です。

法人向けサービスが堅調に推移した結果、前年同期と比較して売上高は2千万円増、率にして0.8%増。営業利益は1千万円減、率にして2.5%減となりました。

四半期業績推移 ■ 音楽配信事業

(億円)	2026/3期				2027/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	19.2	19.1	19.6	19.3	19.4
営業利益	3.9	4.0	4.0	3.7	3.8



©NexTone Inc. All rights reserved.

14

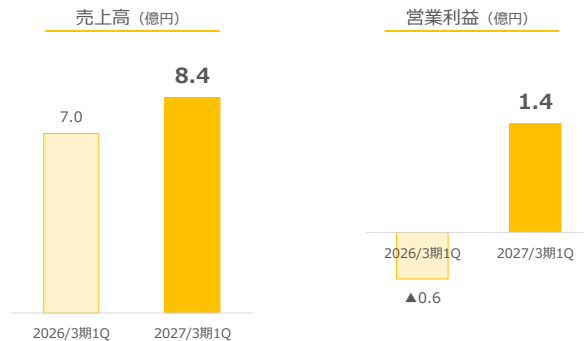
続きまして音楽配信事業の四半期業績推移です。

収益基盤の安定性を維持し、前年同期と同水準の業績を確保して堅調に推移しております。

セグメント別業績 (4/4) ■ ビジネスサポート事業

- ✓ 2026年3月31日付で連結子会社であったエッグスの一部事業を第三者に譲渡したことにより収益性が改善して黒字転換。
- ✓ 連結子会社のレコチョクにおける直販Eコマース「murket」の業績が好調に推移。

(億円)	2026/3期	2027/3期	前年同期比		2026/3期	2027/3期
	1Q	1Q	増減	増減率	通期	通期計画
売上高	7.0	8.4	+ 1.4	+ 19.4%	19.7	24.0
営業利益	▲0.6	1.4	+ 2.0	—	▲3.2	1.0



©NexTone Inc. All rights reserved. ※ ビジネスサポート事業は法定開示書類上はその他に分類しております

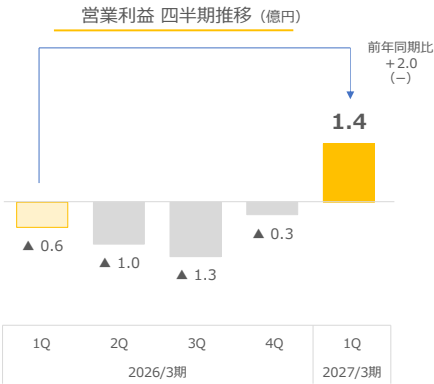
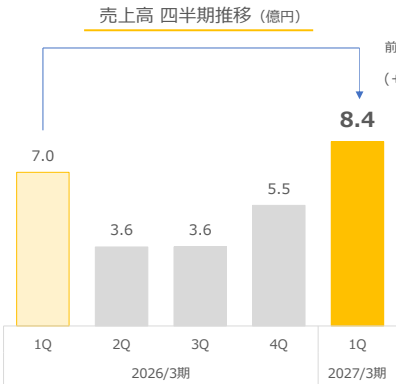
15

続きまして、ビジネスサポート事業です。
NexToneのキャスティング事業やシステム開発・保守運用事業、
子会社のレコチョクのEコマース事業等を総称しております。

2026年3月31日付で子会社であったエッグスの一部事業を
第三者に譲渡したことにより収益性が改善したことや、
レコチョクが展開する直販Eコマース「murket」の業績が好調に
推移した結果、前年同期と比較して
売上高は、1.4億円増、率にして19.4%増となりました。
営業利益は2億円増となり、通期計画を上回りセグメント利益
が黒字転換いたしました。

四半期業績推移 ■ ビジネスサポート事業

(億円)	2026/3期				2027/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	7.0	3.6	3.6	5.5	8.4
営業利益	▲0.6	▲1.0	▲1.3	▲0.3	1.4

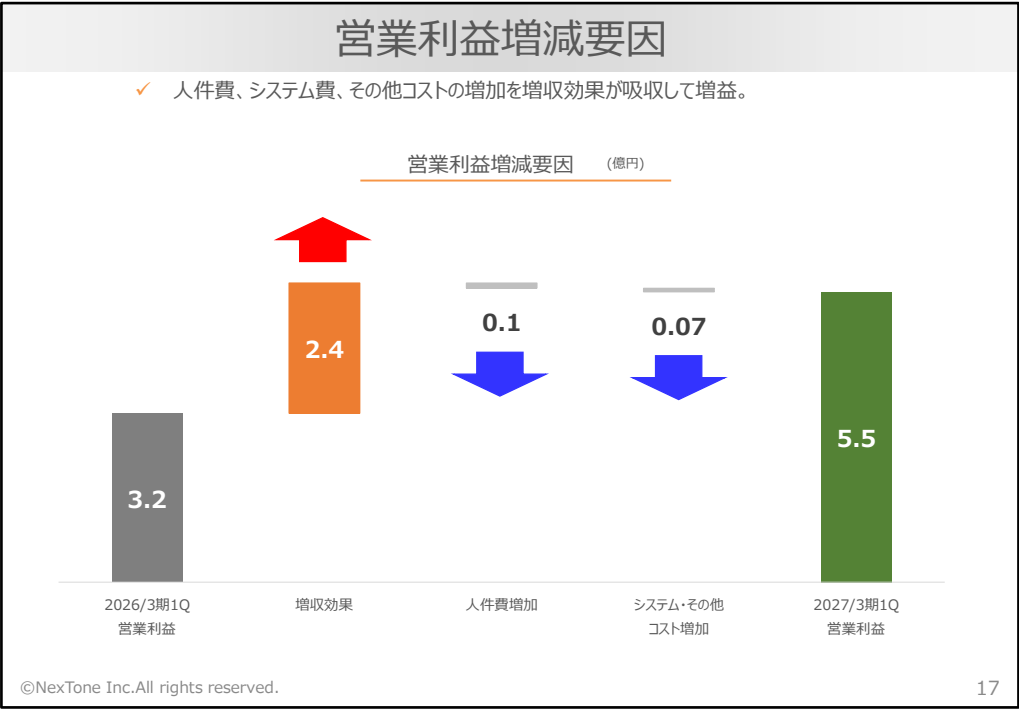


©NexTone Inc. All rights reserved.

16

続きましてビジネスサポート事業の四半期業績推移です。

先述いたしました理由により営業利益が黒字転換を果たし、収益性が大きく改善いたしました。
今後は戦略領域として事業拡大を推進し、中長期的な利益成長を牽引する事業への進化を目指してまいります。



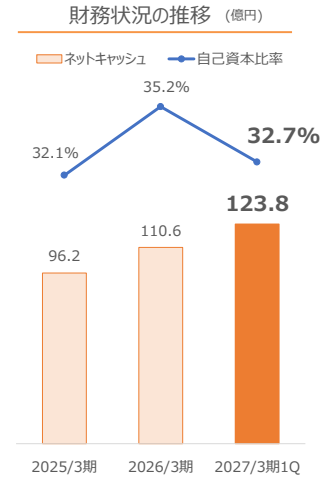
続きまして、連結の営業利益の増減要因です。

増収効果に対して、人件費やシステム費の伸びは抑制されており、営業利益は前年同期比で2.3億円増の5.5億円となりました。

バランスシートの状況

- ✓ 純資産は約67億円。プライム市場上場基準である「純資産50億円以上」を充足。
- ✓ 無借金経営を継続。ネットキャッシュは約123億円。今後も成長のための人員・システムへの投資、M&A含め将来の事業拡大と音楽業界活性化につながる投資、株主還元を引き続き検討。

(億円)	2025/3期	2026/3期	2027/3期 1Q	前期末比 増減
流動資産	122.7	135.0	151.5	+16.5
現預金	96.2	110.6	123.8	+13.2
売掛債権	17.4	17.2	23.3	+6.1
固定資産	25.5	23.1	22.9	▲0.2
無形固定資産	17.8	16.4	16.2	▲0.2
総資産	148.3	158.2	174.4	+16.2
負債	91.1	93.6	107.1	+13.5
買入債務	34.3	32.5	45.0	+12.5
未払金	43.3	51.0	53.8	+2.8
純資産	57.1	64.6	67.2	+2.6
負債純資産合計	148.3	158.2	174.4	+16.2

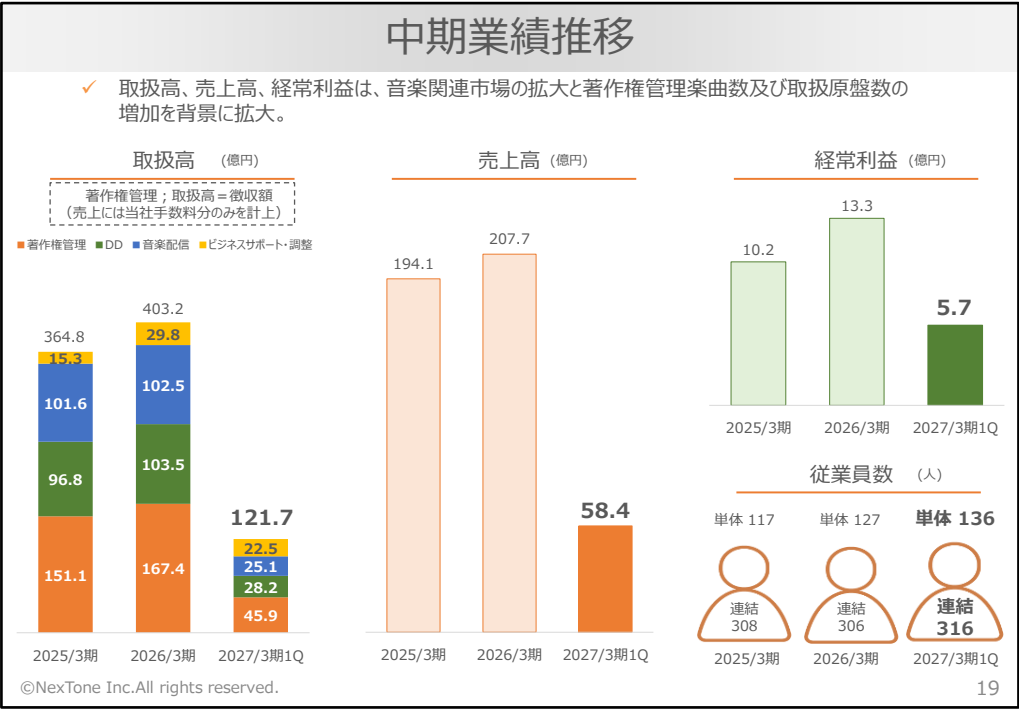


©NexTone Inc.All rights reserved.

18

続きまして、バランスシートの状況です。

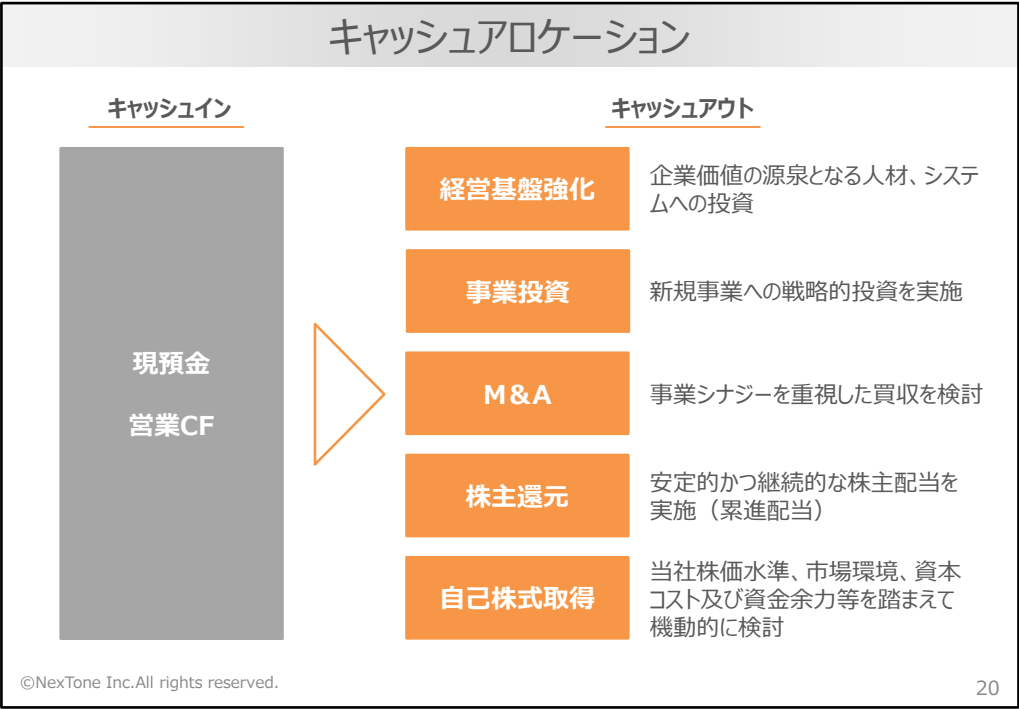
引き続き無借金経営を継続しており、強固かつ健全な財務基盤を維持しております。
ネットキャッシュは約123億円となっております。



続きまして中期業績の推移です。

取扱高、売上高、経常利益は、音楽配信市場の拡大や、管理楽曲数・取扱原盤数の増加を背景に堅調に推移しております。

従業員数は4月入社の新卒社員を含め、連結で316人、単体で136人となりました。



続きまして、キャッシュアロケーションについてご説明いたします。

権利者への分配資金を除いたキャッシュの用途については、人材投資、システム投資、M&Aを含む事業拡大への投資の他、株主の皆様に対する利益還元として、安定的かつ継続的に配当を実施する方針です。

2027年3月期 配当予想

配当政策

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、企業体質の強化と将来の事業展開のために内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的に業績の成長に見合った成果を配当することを基本方針としております。また、原則として減配せず、維持、または、業績の拡大状況を踏まえながら増配をする「**累進配当**」としております。

1株当たり配当金

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	合計
2027年3月期 (予想)	11.00円	11.00円	22.00円
2026年3月期	0.00円	20.00円	20.00円

(注)上記の配当予想は、発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の配当は今後の様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

©NexTone Inc.All rights reserved.

21

続きまして当社の配当政策と、2027年3月期の配当予想についてご説明いたします。

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、企業体質の強化と将来の事業展開のために内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的に業績の成長に見合った成果を配当することを基本方針としております。また、原則として減配せず、維持、または、業績の拡大状況を踏まえながら増配をする「累進配当」としております。

2027年3月期の1株当たりの配当金は、中間期末11円、期末11円、合計22円を予定しております。

トピックス (1) NexTone Award 2026

✓ 創設10周年を迎えた「NexTone Award」。EX THEATER ROPPONGIにて授賞式イベントを開催。



©NexTone Inc.All rights reserved.

NexTone Award 2026 公式サイト <https://www.nex-tone.co.jp/award2026/>

22

最後にトピックスを3点ご紹介いたします。

1点目は、創設10周年を迎えた「NexTone Award」です。記念すべき10回目の今年は、授賞式と連動して過去受賞アーティストによる豪華ライブパフォーマンスも実施し、大盛況のうちに幕を閉じました。

引き続き日本の音楽産業振興の一助になることを目指し、アワード各賞の表彰を続けてまいります。

トピックス（2）坂本龍一氏の音楽カタログを取得

- ✓ 当社100%子会社である株式会社エムシージェイピーが、音楽ドメインにおけるカタログ保有・投資を専門とする米国法人Exceleration Music Partners, LLCとの共同出資により、世界的音楽家である坂本龍一氏の代表曲群を含む音楽カタログ（著作権並びに原盤権）の取得契約を締結。



Photo by Neo Sora ©2020 KAB Inc.

取得作品数

約1,500作品
『Merry Christmas Mr.Lawrence』
『The Last Emperor』
『energy flow』『Rain』『Aqua』等

取得目的

取得カタログのグローバル展開を加速させ、価値を最大化

今後の方針

優良な音楽カタログへの投資・運用を推進

続きまして、2点目のトピックスです。

子会社のエムシージェイピーが、米国のExceleration社との共同出資により、坂本龍一氏の音楽カタログの取得契約を締結いたしました。

当社は引き続き、音楽文化・音楽産業の発展のために挑戦を続けるという理念のもと、著作権管理事業のさらなる推進に加え、今回確立したグローバル・パートナーシップを活用し、優良な音楽カタログへの投資・運用を推進してまいります。

トピックス（3）ジャケット写真グッズ専門ECショップ「#onpuk」

- ✓ 音楽ジャケット写真を用いたグッズを専門で販売するECショップ「#onpuk（オンプク）」を7月27日にオープン。
- ✓ これまでマネタイズされることの少なかったジャケット写真を活用した商品を販売することにより、新たな収益を生み出し、各権利者に還元するサービスを展開。

#onpuk



公式サイト <https://www.onpuk.com/>

※2027年3月期第2四半期よりビジネスサポート事業の業績に計上見込み

©NexTone Inc.All rights reserved.

24

最後に、7月にサービスを開始いたしましたジャケット写真グッズ専門ECショップ「#onpuk」についてご説明いたします。

本サービスは、各レコード会社やアーティスト等の権利者が保有するビジュアル資産を、極めて手軽に商品化・収益化できる、日本初の専門プラットフォームとなっております。商品企画から製造、EC販売、グローバル配送までを当社がワンストップで担うことで、エンタテインメント業界における新たな収益モデルを確立し、中長期的な企業価値の向上を目指しております。

私からのご説明は以上です。
引き続き通期計画の達成に向けて邁進してまいります。

ご視聴いただき、ありがとうございました。

計画に関する注意事項

本資料に記載されている業績計画等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<音楽著作権の解説や当社の事業等について発信中>

